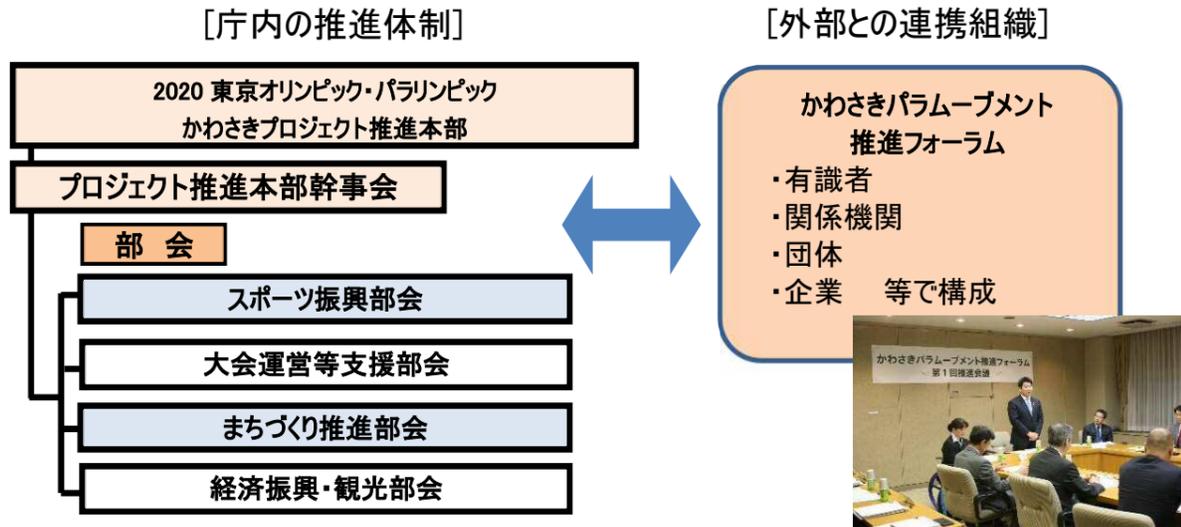


## 1 策定の目的

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくため、東京大会に向けた本市の取組の方向性や目指すべきレガシーを明らかにし市民と共有するとともに、取組を計画的に進めていくため「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」を策定する。

### 【検討経過】

- 2015年2月 「2020東京オリンピック・パラリンピックかわさきプロジェクト取組方針」策定・公表
- 9月 検討部会において推進ビジョン策定に向けた中間まとめを実施
- 10月 推進本部と外部との連携組織として、「かわさきパラムーブメント推進フォーラム」を設置
- 11月 推進フォーラム「ひとづくり・おもてなし分科会」「まちづくり分科会」を開催



## 2 東京2020大会に向けた本市の基本方向と取組の考え方

### (1)「かわさきパラムーブメント」について

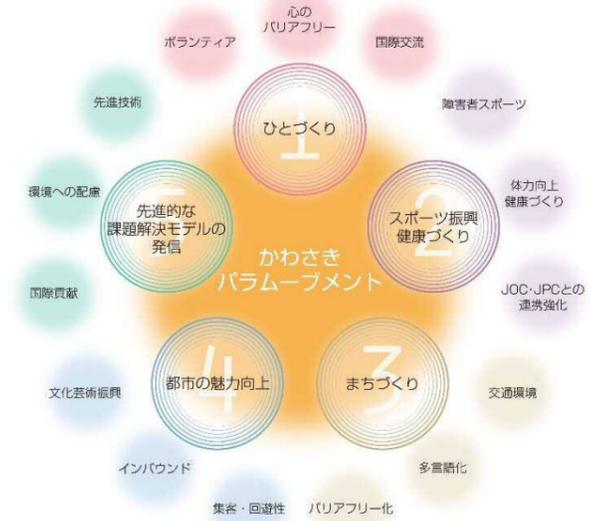
東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、本市は「かわさきパラムーブメント」をメインコンセプトに掲げ、2020年のその先へとつながる新しい社会を市民と共に創る運動として発展させていく

#### 【かわさきパラムーブメント～その背景と目指すもの～】

- **将来の課題を先取りする**  
 少子高齢化、人口減少社会の到来を見据え、持続可能なまちづくりを進めていくため、一人ひとりが尊重され、能力を發揮することができる環境づくりを進めていくことが重要である。
- **パラリンピックに重点を置くということ**  
 パラリンピックは大会を追うごとに参加国とその選手の数が 증가していると言われています。このパラリンピックを未来につながるダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(さまざまな人が自分らしく社会の中に混ざり合えること)の象徴と捉え、パラリンピックに重点を置くという方針を打ち出す。
- **「かわさきパラムーブメント」から市制100周年へ**  
 パラリンピックを応援することにとどまらず、障害のある人が生き生きと暮らす上での障壁となっている、私たちの意識や社会環境のバリアを取り除くことや、新しい技術でこれらの課題に立ち向かうことを「ムーブメント」として展開していくことを目指していく。「かわさきパラムーブメント」が市内の隅々に行き渡ることで、東京2020大会終了後、さらには2024年の市制100周年につながる実践的な取組が進むと考えられる。

## 「かわさきパラムーブメント」の5つの方向性

「かわさきパラムーブメント」の取組を幅広い領域で展開していくため、世界最大のスポーツと文化の祭典であるオリンピック・パラリンピックの特徴や、本市の持つ強みやポテンシャルを捉える5つの方向性(「ひとづくり」「スポーツ振興・健康づくり」「まちづくり」「都市の魅力向上」「先進的な課題解決モデルの発信」)を設定し、これまでの取組をさらに深めるとともに、2020年に向けた加速度的な推進を目指していく。



### 【取組推進の考え方】

また、「かわさきパラムーブメント」をより良い社会への変革につながる、市民を巻き込んだムーブメントとして展開させていくため、次の2つの取組の両輪で推進を図っていくものとする。

- ① 新たな総合計画と連動した本市の取組
- ② 推進フォーラム等の提案に基づく多様な主体の連携による取組

### (2) 推進ビジョンの取組期間について

大会終了後に取組の成果を検証し、2024年の市制100周年や、その後のまちづくりにつながるレガシー形成を見据え、2016年度から東京2020大会終了後の2021年度までの6年間を本推進ビジョンの取組期間とする。

また、東京大会に向けた機運の高まりや、大会組織委員会等の動向を踏まえ、各分野の取組を段階的に拡充・進化させていくことや、新たな総合計画との整合を図るため、6年間に3つのフェーズを設定し、推進ビジョンの見直しを行っていく。このたび策定する本ビジョンは、主に第1期推進期間の取組を中心に取りまとめを行うものである。



### 今後のスケジュール

- 2月 15日(月) かわさきパラムーブメント推進フォーラム第2回推進会議
- 16日(火) パブリックコメント開始(3月16日まで)
- 3月 下旬 推進本部会議開催(パブリックコメント結果報告)、策定、公表
- 4月 推進ビジョン(冊子)発行

### 3 第1期推進期間(2016年度・2017年度)の主な取組

5つの方向性に基づく本市の取組とともに、かわさきパラムーブメント推進フォーラムからの提案をもとにしたプロジェクトづくりを進める。

#### 国際交流

##### 〈大会後のレガシー〉

- ボランティア文化（人材・しくみ・意識）
- 心のバリアフリー
- 多文化共生の社会
- 国際社会に貢献できる人材
- 障害のある人に配慮した就労環境



##### [具体的な取組]

##### ボランティア活動の推進

- スポーツイベント等におけるボランティアの募集
- 事前キャンプ受け入れに向けたボランティアの育成

##### 心のバリアフリーの推進

- 市内イベントにおける障害のある人の就労体験の実施
- 障害の有無に関わらず参加できるスポーツイベントの実施

##### 国際交流の推進

- 英国との交流事業の実施と「ホストタウン構想」の推進
- 小学校における英語教育の推進

#### 都市の魅力向上

##### 〈大会後のレガシー〉

- 多言語に対応した観光施設
- 拠点化・ネットワーク化された観光資源
- 市民・来訪者がICTを利用しやすい環境
- 国内外に浸透した本市のブランドイメージ
- 誰もが文化芸術に親しめる環境



##### [具体的な取組]

##### 市内への集客・回遊性の向上

- 川崎駅北口への魅力発信施設の開設
- 市内施設の回遊性の向上
- 観光ツアー商品の開発に向けたPR

##### 外国人観光客の増加に向けた取組

- 民間事業者と連携したインバウンド向けの取組の推進
- 多言語対応による情報発信や施設案内
- Wi-Fi 環境の充実

##### 文化・芸術の振興

- オリンピック・パラリンピックをテーマとした企画の実施
- コンサート等でのバリアフリープログラムの拡充
- 多様な主体による文化プログラムの実施

#### スポーツ振興・健康づくり

##### 〈大会後のレガシー〉

- 誰もがスポーツに親しめる環境
- 健康づくりや生きがいにつながるスポーツや運動の習慣
- アスリートを発掘・育成・支援する環境



##### [具体的な取組]

##### 障害者スポーツの推進

- 障害者スポーツの推進組織の強化
- 障害のある人も参加できるスポーツ広場の定期開催
- 大規模スポーツ大会を通じたパラリンピック競技の普及促進
- 全国規模の障害者スポーツ大会の誘致・開催

##### スポーツによる体力向上や健康づくり

- スポーツパートナーによるスポーツ教室の実施
- ジュニアアスリートの育成・強化
- スポーツ・文化総合センターのオープンを契機としたスポーツ推進

##### JOCやJPCとの連携の推進

- オリンピアンへの派遣によるスポーツ教室の実施
- 事前キャンプへの対応

#### 先進的な課題解決

##### 〈大会後のレガシー〉

- 高度な医療ニーズに対応した、革新的な医薬品・医療機器の開発による国際的な課題解決への寄与
- 低炭素化の推進による地球環境問題解決への寄与
- 新たな福祉製品・サービスの創出による国際的な高齢化の課題解決への寄与
- 先端技術に関する世界的なプレゼンス

##### [具体的な取組]

##### 先端技術の世界に向けた発信

- 殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）の形成
- 水素関連技術の普及促進
- 環境先進都市としての特徴と強みを活かした国際社会への貢献
- 環境配慮型社会の実現に向けた情報発信
- 福祉製品、サービスの開発企業との連携
- ICTを活用した快適で利便性の高いまちづくりの推進
- スマートシティの推進

#### まちづくり

##### 〈大会後のレガシー〉

- ユニバーサル化（バリアフリー化・多言語化）の進んだ公共空間
- 羽田空港を核とする成長戦略拠点と連動した交通ネットワークの形成



##### [具体的な取組]

##### 交通環境の向上

- UD タクシーの普及や利用環境の整備
- 東京都、大田区等との交通ネットワーク構築

##### 案内表示の見直し

- （仮称）ユニバーサルデザイン方針に基づく取組の推進
- 川崎駅北口自由通路の整備による案内サインの設置

##### バリアフリー化の推進

- 駅・道路などにおけるバリアフリー化の推進
- スポーツ施設のバリアフリー化の推進

### 「かわさきパラムーブメント推進フォーラム」の提案に基づくプロジェクトづくり

推進フォーラム委員の提案に基づき、多様な主体の連携によるプロジェクトづくりに向けて、実施手法等の検討を進めていく。

#### 【2016年度から具体的な検討に入る主なプロジェクト】

- アクセシブルシティかわさき（飲食店など商業施設のバリアフリーの状況に関する取材と情報発信）
- パラスポーツやってみるキャラバン（小中学校等でのパラスポーツを体験する巡回講座の実施）
- 誰でも参加！インクルーシブなカワサキハロウィン（カワサキハロウィンの老若男女、障害者、健常者すべての人が楽しめる仮装イベントとしてのプロジェクト化）
- 宿泊施設のバリアフリー化促進プロジェクト（車いす利用者をはじめ、障害のある人に配慮した宿泊施設を増やすための仕組みづくりの検討）

#### 【その他の委員提案】

- ・ 障害がある人も利用できる施設やサービスの統一マークの検討
- ・ ハラル食やベジタリアンへの対応などマイノリティに配慮した取組
- ・ 空家の利活用等による障害者・高齢者への居住サービスの提供 など